



題字：鳩山威一郎

明けまして

おめでとうございます

一般財団法人 日本友愛協会



機関紙「友愛」

発行所 (一財)日本友愛協会 千112-0002 東京都文京区小石川 1-10-13 小石川文ビル2階 TEL:03-5684-3188 FAX:03-5684-3186 E-mail:yuai@yuaiyoukai.com http://yuaiyoukai.com 発行人: 川手正一郎 編集人: 隔月1回 10日発行 年会費 2,000円

写真：富士山 撮影：川手 正一郎

日本友愛協会の会員のみならず、機関紙「友愛」の読者のみなさま、新年明けましておめでとうございます。昨年はみなさまにとりましていかがでしたでしょうか？友愛にうち満ちた年でありましたでしょうか？

日本友愛協会にとりましては、国際交流の視点から新しく三つの事業にチャレンジした発展の年でした。一つはミャンマーのアウンサンスーチーさんからの依頼で、農業の実習のために二人の研修生を受け入れたことです。ミャンマーと日本とは農業技術や制度の格差はあまりにも大きいので、すぐに役立つ技術をどこまで学ぶことができたか疑問は残りますが、彼らにとって有意義な研修であったと信じています。

二つ目はベトナムの病院に車いすを五〇台寄贈したことです。ベトナム戦争で米軍が使用した枯葉剤のダイオキシンで、今でも多くの障害児が生まれています。彼らが手術を受ける病院には車いすがありませんでした。そこで、アビリティーズ・ケアネット社の全面的な協力をいただき、十分に新しい中古の車いすを集めて、新品同様に修理して病院に送りました。贈呈式の日、子どもたちが喜ぶ姿を見て、とても感動いたしました。

三つ目は中国国際青年交流センターとの共催で、ネット上での友愛国際写真コンクールを開催したことです。応募者は圧倒的に中国の方が多かったのですが、三六か国から約一七〇〇〇人の方々が参加して、一万点余りの作品が寄せられました。大変に見応えのある作品も多く、北京での表彰式には多くの方のご来場をいただき、大成功であったと思います。

これら三つの事業を振り返り感ずることは、一つの事業を成功させるためにも、多くの方々の善意の積み重ねがあったことを忘れてはならないことです。そしてそれを通じて、友愛の心が国を超えて深まりあつていくことでした。その意味においても、継続は力であり、それぞれの事業を最低でも三年間は続けていくことを約束したいと思います。あるところまでそう申ししたところ、三年とは言わずに：と言われましたが。



理事長 鳩山由紀夫

また、既定の事業ですが、中国での植林事業に初めて参加し、植林という地球環境を守る貴重な仕事に、日本と中国の若者たちが一緒に汗をかくことの重要性が分かったように感じました。反省点があるとすれば、日本の若者たちの参加が少ないことで、どこかの学校と協力することなどして、日本から多くの子どもたちを連れていくことを考えられないかと思えます。

友愛山荘事業は通年となり、六〇人程度が研修できる、さまざまな設備も整ったバリアフリーの友愛ホールと二棟のパオも好まれて、料理も好評で宿泊者もかなり増えて参りました。本年にはグラランドピアノも常設いたしましたので、音楽関係の研修にお勧めしたいと思います。

さて、日本はいずれどこへ向かうのでしょうか。隣国との緊張関係を続けながら、米国の主導する戦争へ参加する方向に舵を切るのでしょうか、それとも、隣国との協力関係を高めて、いずれの戦争にも加わらない不戦の地域共同体への道を歩むのでしょうか。私は友愛の理念の下に、日本が後者の道を堂々と歩むことを願っています。そしてそのために日本友愛協会は、今こそ、その理念を日本や世界の人々に普及させていく責務があると思えます。

「友愛」はけっして新しい理念ではありません。中国の春秋時代末期です。今から二千四〇〇年ほど前の思想家の墨子が唱えた兼愛思想は、極めて友愛に近いと言えます。彼は、世の中のすべての混乱は互いに愛し合わないことから起こると考えます。他者を犠牲にすることによって、自己の利益を図ろうとする精神と行為が混乱を招く。したがって、わが身を愛するように他人を愛することができるようになれば、世界中は安定すると説きました。

同時に、この発想はけっして古いだけの理念でもありません。まさに現在もその通りです。もし、オバマ大統領が自分と同じくらいブーチン大統領を愛するならば、また、もし、安倍首相が自分と同じくらい習近平主席を愛するならば、世界は安定するのです。世界が平和になる日を迎えるために、日本友愛協会としてもその役割を果たして行きたいと思えます。

友愛時評

▼年末年始の日本列島は各地で厳しい寒気に見舞われた。地球温暖化のゆえか筆者の地元である盛岡でも近年は主要道路に雪が残っている時期はほとんどないのだが、今年の冬は雪国を実感させる天気が続いている。▼厳冬になると問題となるのが雪かきと雪下ろしである。筆者の幼少時には子供たちが先を争うように雪かきに出て、それがいつしか雪合戦やかまくら作りになっていた記憶があるのだが、そういう光景を見ることは本当に稀になった。今や、雪かきの主力は元氣なご老人方である。▼昨年四月に増田寛也元岩手県知事を座長とする日本創成会議が『中央公論』誌上に発表したレポートは、三〇年後に日本の全自治体の約半数にあたる八九六市町村で消滅の可能性があることをデータと共に提示し、大きな衝撃を与えた。この「増田レポート」の出版や「地域拠点都市」への「選択と集中」という対策をめぐり、地方の自治体関係者から「むしろ諦念を生み地方衰退を加速化させる」といった批判も寄せられている。▼この少子高齢化をふまえた日本社会の将来像をめぐる議論ですぐに思い出すのは、数年前に六本木ヒルズの某弁護士事務所を会場に行った研究会である。「多文化共生」をテーマに研究報告した筆者は「このまま人口減少を甘受すれば大都会はともかく地方はもたない」と問いかけたのだが、「地方が消滅しても一向に構わない」と正直に返され衝撃を受ける羽目となった。▼六本木ヒルズと雪下ろしに四苦八苦するご老人方はお互いに相手の顔を思い浮かべながら日本の将来を考えているのだろうか。そんな思いにとらわれながら、二〇一五年という節目の年を迎えた。(ヒゲ)

第二十五回友愛ドイツ歌曲コンクール

本選会開催

男性出場者五名 女性出場者五名 (二財)ドイツ歌曲普及協会と共催 初の組合せ

♪ シューベルト賞新設 日本歌曲賞二名受賞 高い音楽性・技量の競演

十二月十二日(金)午後四時四十分より文京シビックホール小ホールに於いて、平成二十六年度文部科学大臣賞 第二十五回友愛ドイツ歌曲(リート)コンクール本選会が開催された。

今回の本選会は、ドイツ歌曲の普及を目指す一般財団法人ドイツ歌曲普及協会(内田由利子理事長)との共催のかたちで開催され、同協会提供の「シューベルト賞」も新設された。今回は初めて一次予選から本選会まで、シビックホールでの開催となった。会場の利便性も手伝ってか多くの方のご来場を得、成功裡に閉幕することができた。

ここ数年男性の応募者が多くなっているが、本年度は本選会出場者の内、半数が男性という二十五回目にして初めての出来事が起きた。照屋篤紀さんが第一位、文部科学大臣賞の栄に輝き、二年連続の男性が一位獲得という初の結果を呈した。また、日本歌曲賞は中嶋俊晴さんと杉山由紀さんの二名が受賞し、本コンクールの成長ぶりを物語る結果となった。

ドイツ歌曲に於ける唯一のコンクールとして高い評価をもつ友愛ドイツ歌曲コンクール本選会が十二月十二日(金)文京シビック小ホールにて開催された。

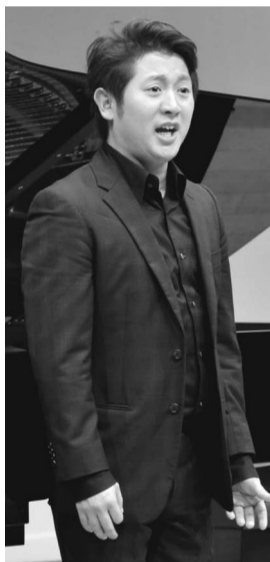
応募総数五十七名の中から、一次予選、二次予選と勝ち抜いた十名の精鋭による本選会は、毎年楽しみに来場される方も有る程、定着した会となっている。

今回は鳩山由紀夫理事長、井上和子評議員長、川手正一郎常務理事も来場し、始まりから最後の出演者まで、熱心に聞き入って、歌声を楽しんでいた。「皆さんの情熱が伝わる素晴らしい演奏です」と鳩山由紀夫理事長



出演者・審査員の先生方、関係各位揃って記念撮影

鳩山由紀夫理事長、井上和子評議員長、川手正一郎常務理事を囲んで、安堵と喜びの気持ちで全員を笑顔に。審査員の先生方も満面の笑顔。R.シュトラウス協会からは田辺秀樹常務理事、ドイツ歌曲普及協会からは内田由利子理事長がご出席された



第一位・文部科学大臣賞・日本R.シュトラウス協会賞・聴衆者賞 照屋 篤紀さん テノール



第二位・日本歌曲賞・シューベルト賞 中嶋 俊晴さん カウンターテナー



第三位・日本歌曲賞 杉山 由紀さん メゾソプラノ



学生の部 奨励賞 福田 夕華さん ソプラノ



聴衆者賞発表。鳩山由紀夫理事長と井上和子評議員長の二人で。もう一度是非聞きたい歌声ですと



優秀共演者賞に輝いた田中悠一郎さんの演奏。昨年に続いて男性奏者の受賞となった



第一位、文部科学大臣賞、日本R.シュトラウス協会賞、聴衆者賞と四つの賞を獲得。照屋篤紀さん



審査員の先生方。出演者の熱演に採点では悩まされたが、表彰式では全員が笑顔で臨んだ

学生の部から演奏が開始され、九人の熱演が繰り広げられた。(当日一名欠場)

ソプラノ、メゾソプラノ、バリトン、テノール、カウンターテナーまで彩り豊かな歌声に、来場者からは大きな拍手が贈られ、華やかで和やかな中にも熱気あふれる本選会となった。

全出演者の演奏が終わると、聴衆者賞の投票の時間となったが、聴衆者賞もすつかり定着した感があり、入場券の半券と投票券の交換に、多くの方が列を作って参加してくださった。

聴衆者賞は、照屋篤紀さんが受賞、鳩山由紀夫理事長と、井上和子評議員長が二人で舞台に立ち、読み上げ表彰を行った。

審査に入り、審査員の先生方は、今回の出演者の技量の高さに頭を悩ませた。

日本R.シュトラウス協会賞は、例年意見の分かれるところだが、今年度は全審査員一致で照屋篤紀さんに決定した。

初めてのシューベルト賞

は、対象者が一名しか無かったが、審査員の先生方の認めるところから、中嶋俊晴さんが受賞した。

表彰式に先立ち、鳩山由紀夫理事長が挨拶に立ち次のように述べた。

「皆さんの迫力ある歌声に聞き入っていました。音楽は国境を越えた芸術です。友愛の理念の実践に近づくことを願っています。また、毎年手伝ってくださるボランティアの裏方さんにも感謝します」

表彰式では、鳩山由紀夫理事長より、第一位から第三位までの賞状並びに副賞の贈呈が行われた。奨励賞以下特別賞の賞状並びに副賞の授与は、川手正一郎常務理事が行った。島崎照代(日本友愛協会参与・実行委員長)菅英三子(東京藝術大学准教授)高橋啓三(東京音楽大学教授)寺谷千枝子(東京芸術大学教授)三ツ石潤司(武蔵野音楽大学教授)本島阿佐子(国立音楽大学准教授)ヨズア・バルチュ(武蔵野音楽大学講師・ドイツ語発音法)

力で開催されるウィーンでのコンサートに出演する。

— 受賞者 —

第一位・文部科学大臣賞・日本R.シュトラウス協会賞・聴衆者賞/照屋篤紀さん 第二位・日本歌曲賞・シューベルト賞/中嶋俊晴さん 第三位・日本歌曲賞/杉山由紀さん 学生の部奨励賞/福田夕華さん 優秀共演者賞/田中悠一郎さん 入選/吉田志門さん・原 千裕さん・菅谷公博さん・橘田有美さん・伊藤達人さん

*HPに詳細掲載

— 本選会審査員 —

(五十音順・敬称略)

小松英典(ドイツ連邦共和国認定終身教授) 島崎照代(日本友愛協会参与・実行委員長) 菅英三子(東京藝術大学准教授) 高橋啓三(東京音楽大学教授) 寺谷千枝子(東京芸術大学教授) 三ツ石潤司(武蔵野音楽大学教授) 本島阿佐子(国立音楽大学准教授) ヨズア・バルチュ(武蔵野音楽大学講師・ドイツ語発音法)

「友愛」「平和」「環境保護」「人と自然」をテーマに 国際交流事業

二〇一四年友愛国際写真コンクール表彰式開催

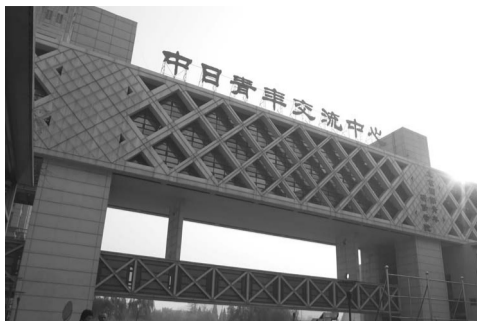
世界三六カ国より一万点の応募 受賞作品を附録で紹介

十一月二十日(木)北京にある二十一世紀ホテルに於いて「二〇一四年友愛国際写真コンクール」の表彰式が行われた。

これは日本友愛協会国際交流事業の一環として、中国国際青年交流センターと共同して開催したもので、「友愛・平和・緑(環境保護)・人と自然」をテーマに、共青团中央委員会傅振邦書記(写真右)と鳩山由紀夫理事長(写真左)が固い握手を交わした。



日中青年交流を記念して建てられた交流記念館。表彰式の会場となった二十一世紀ホテルはこの一部



に作品を募集した。本コンクールの特徴は、インターネットを介しての応募を可能とし、作品も専門賞(芸術写真として完成度の高いもの)、友愛賞、ネットユーザー人気賞、携帯写真賞(携帯電話で撮影したもの)等部門毎の賞を設定した。

七月一日から九月二十日までの募集期間に、寄せられた作品は約一万点。一七〇〇名、三十六ヶ国からの応募があった。



表彰式会場に隣接した展示会場には、立派なパネルが設置されおよそ一五〇点の作品が展示された



中国側審査員五名、日本側審査員二名及び日本友愛協会理事会の厳正なる審査の結果、約三十点が受賞作品に選ばれた。日本からの応募では、専門賞第三位に参川修徳さん、友好賞に江島三恵子さんが入選した。

「友愛賞」受賞者の李卓さん(写真右)と李雨川さん(写真左)に鳩山由紀夫理事長から賞金を授与した。

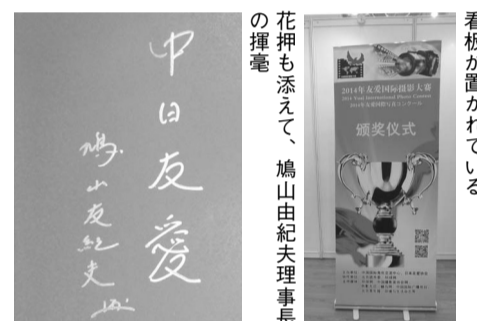


第一位受賞者の陳文欽さん(写真右)と作品についての解説を聞く鳩山由紀夫理事長と傅書記



表彰式当日は、会場には木寺昌人在中国特命全権大使、共青团中央委員会傅振邦書記をはじめとする来賓が出席、祝辞を述べた。

中国国際青年交流センター孫俊波主任のもと、洪桂梅副主任を軸に準備を進めてきた交流センターの方々によるきめ細やかな設営に、誰もが惜しみない拍手を贈った。会場ではセンターの至る所に「友愛国際写真コンクール表彰式」を知らせる立て看板が置かれている

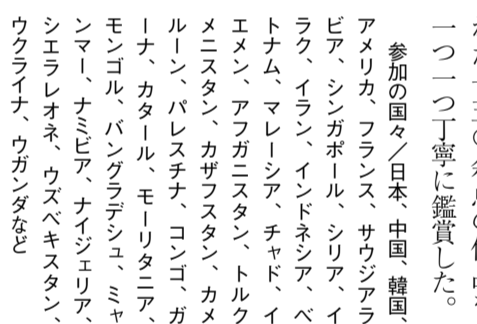


表彰式会場前で、求めに応じサインをする鳩山由紀夫理事長。気さくな人柄が大人気である



スタッフ作成の「友愛との歴史」と題する映像が流され、中国国際青年交流センターと友愛協会の植林活動を始め、永年に亘る交流の歴史が紹介された。

鳩山由紀夫理事長は挨拶で「文化、習慣の差を超え、一つの事に力を合わせ、この様に素晴らしいコンクールが実施され、見応えのある作品が沢山集まったことを誇りに思います。総て永年の友好関係の賜物です。設置されたセンターの皆さんに感謝します」と述べた。



鳩山理事長が表彰式の壇上から降りた途端、一緒に写真を撮りたい学生に囲まれてもみくちゃに



第一〇七回笠間菊まつり

外山茂登子さん快挙

農林水産大臣賞受賞

茨城県笠間市に在住の外山茂登子さん(日本友愛協会会員)が、出品した千輪咲きの菊「富士の輝」で農林水産大臣賞を始め、茨城県議会賞、笠間稲荷神社賞、笠間商工会長賞の四つの賞を総なめにする快挙を成し遂げた。

外山さんは永年菊づくりで携わっており、今回の十二回目の出品で念願の優等賞一席を獲得した。今回の作品は毎年行われる「笠間の菊まつり」に出品したもので、「友愛山荘からの帰りに立ち寄った白糸の滝から富士山を臨んだ風景を菊で創り上げました。一〇万人の見学者に感動していただきました。私は、十二回に亘る笠間神社出品で一席となりました」と、作者の外山さんは語っている。



カラーでお伝えできないのは残念だが、富士を作り上げていたのは薄紫色の小菊である。この花の全てが、一株の菊から咲いているのである。千輪咲きと言われる作り方で、開花時期を絞り、日照時間の調整、沢山の花を付けさせるための肥料の調整など、菊づくりのなかでも、大変な努力と技術を要する技法である。何より、菊は一年草なので、その年毎に育て始める。菊を知り尽くしていなければならぬ。外山さんの快挙に拍手を贈りたい。(友愛HPにカラーで写真掲載)

<p>時事川柳</p> <p>服部迪夫 作</p> <p>「時事川柳研究会」会長</p> <p>一逸の城関</p> <p>大相撲カンフル割のお通りだ</p> <p>一 小保方さん</p> <p>「有ります」に振り回されたこの一年</p> <p>一 平和賞マララさん</p> <p>スピーチが全世界へと打電され</p> <p>一 三家族の幸福度</p> <p>幸福の尺度をかえるノーベル賞</p> <p>一 両雄の死</p> <p>映画界健と文太の生きる道</p> <p>一 年末選挙</p> <p>争点がボケてボケケテ年の暮れ</p> <p>一 原点復帰</p> <p>時事川の初心にかえるスクラップ</p>	<p>編集後記</p> <p>◆アベノミクスの三本目の矢は選挙か? 与党圧勝の勢いが成長戦略のスタートの契機。そんな感じがした。消費税引き上げ後の国内消費は振るわず、なんとなく気分が重たい。昔、江戸っ子は宵越しの金は持たないと啖呵を切ったようだが、今は明日があかるくなければ財布の紐をゆるめない。年末からの日本海側の豪雪は人々の心を沈滞化させ、購買意欲を削ぐ。厳しい冬からの脱却が人々の心を和ませ勇気づけるよう、確かな政府の経済政策に期待する。</p> <p>春の曙光とともに輝く明日となるか。 (K)</p> <p>◆新年おめでとうございませう。昨年は国際交流事業の企画が三つ始まり、ビツクリするよう忙しさがあふれたが、どの事業も多くの方にご協力をいただき、十分な成果を収めることができました。ベトナム、ミャンマー、中国どの国も文化、風習が異なり、その都度驚いたり感心したりの連続で、国際交流という言葉の意味と意義を改めて実感しました。文化が異なるのは当然で、それをどう受け止めるか、こちらの思いを理解してもらえないよう伝えるかが、重要な鍵でした。気がついたらそのことは、既に言葉として存在しました。「相互尊重・相互理解・相互扶助」友愛の三原則です。今更のように、友愛の大切さ、奥深さを感じた次第です。勉強、勉強。(も)</p>
---	--

株式会社時代村
代表取締役
会 長 野口 義和
EDOWONDERLAND
日光江戸村
本社 〒321-2524 栃木県日光市柄倉470番地2
TEL:0288-77-1780 FAX:0288-77-1781
E-mail:y.noguchi@jidaimura.co.jp
ホームページ URL:http://www.edowonderland.net
携帯サイト URL:http://edomura.net

kondo group
代表取締役社長
近藤 純子
株式会社 近藤組
本社 〒448-8622 愛知県刈谷市一里山町伐込123番地
TEL(0566)36-1811 FAX(0566)36-1817
URL:http://www.kondo.co.jp/
E-mail:jkondo@kondo.co.jp

新宿瑠璃光院
白蓮華堂
大洞 龍明

新謹
年賀



一般財団法人日本友愛協会
評議員 萩原 直三
〒154-0003 世田谷区野沢 2-33-5-1107

上毛資源株式会社
取締役
会 長 佐伯 詔一
〒371-0857 群馬県前橋市高井町1-13-4
TEL027-251-7395 FAX027-251-7337
URL:http://www.j-shigen.co.jp

参議院国家基本政策委員長
参議院議員
小川 勝也
〒060-0003 北海道札幌市中央区北三条西1-2
TEL 011-251-5558 FAX 011-251-5577
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1-1217
TEL03-6550-1217 FAX03-6551-1217

電気設備工事・消防設備工事
有限会社 浅間電気商会
〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉957-68
TEL0267-45-3443 FAX0267-45-2777

「吐き続ける川柳」
時事川柳研究会
会 長 服部 迪夫
135-0023 江東区平野 4-13-1

レジャー産業研究会グループ8
代表幹事
櫻井 淳一

VIAx
代表取締役
小川 巧次
株式会社 ウィアックス
本社 東京都中野区弥生町2-8-15 〒164-8677
DM事業本部 TEL:03(3299)6011 FAX:03(3299)6005
アパレル部 東京都文京区本郷5-23-12 鳩山ビル8階 〒113-0033
事業本部 TEL:03(3815)3788 FAX:03(3815)3135
URL:http://www.viax.co.jp

一般財団法人日本友愛協会 評議員
鳩山友愛塾 塾 長
一般財団法人 人間塾 評議員
井上 和子
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

衆議院議員
一般財団法人日本友愛協会
副理事長 鳩山 邦夫
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

ASKUL AGENT
アスクルエージェント
事務用品、生活用品から医療用品まで取り揃え。
アスクルの法人登録は当社にご用命下さい。
株式会社 重松商事
〒107-0052 東京都港区赤坂2-12-21
ディアシティ赤坂西館5F
TEL:03-3588-1501 FAX:03-3588-1321

一般財団法人日本友愛協会
理 事 奥田 吉郎

機能性セラミックの用途開発と磁器の芸術を追求する岩尾グループ
IWA O 十四代 岩尾 對山 窯
代表取締役 社長
岩尾 慶一
岩尾磁器工業株式会社 岩尾エンチャリング株式会社
佐賀県唐津郡有田町外堀町1436-2 TEL:0955-43-2111 FAX:0955-42-5205
佐賀県唐津郡有田町大橋2丁目5号 TEL:0955-42-5841 FAX:0955-43-2661
ホームページアドレス http://www.iwao.co.jp/

一般財団法人日本友愛協会
理 事 長 鳩山 由紀夫
〒112-0002 東京都文京区小石川1-10-13
TEL03-5684-3188 FAX03-5684-3186

遮熱・調湿・防臭できる塗料「ガイナ」
取扱店
有限会社 樹林
〒379-0222 群馬県安中市松井田町松井田2-5
TEL 027-393-4812 FAX 027-393-4426
URL www.t-jurin.co.jp 群馬県知事許可(特22)第21251号

毎夕新聞印刷株式会社
代表取締役
会 長 川島 毅
〒113-0022 東京都文京区千駄木3-45-2
TEL03-3823-8511
FAX03-3822-0304

衆議院議員
岩屋 毅
国会事務所 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2
衆議院第2議員会館1209
TEL03-3508-7510 FAX03-3509-7610
別府事務所 〒874-0933 大分県別府市野口元町1-3
富士ビル 2階
TEL0977-21-1781 FAX0977-21-1799
http://www.t-iwaya.com

一般財団法人日本友愛協会
評議員 福田 八州雄
〒175-0082 東京都板橋区高島平7-43-15

一般財団法人日本友愛協会
参 与 中川 治男

株式会社 ニッセーデリカ
会 長 川手 正一郎

ご宴会・ご婚礼
出張宴会
グリルブクシマ
カフェランランドーレ
http://www.seiyoken.co.jp
〒110-8715 東京都台東区上野公園4-58
JR上野駅公園口・京成上野駅...徒歩5分
TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330

もんじゃ 太郎
矢吹 和重
中央区月島1-8-1-103
電話 03-3531-3946
月島もんじゃ振興会加盟店

中島肇行政書士事務所
遺言・相続の手続きおまかせください
行政書士 中島 肇
〒379-0135 群馬県安中市郷原300-2
TEL027-385-1550 FAX027-385-0570

MOK 株式会社 嶺岡工機
代表取締役 川辺 辨
〒242-0022
神奈川県大和市柳橋5-7-5
TEL 046-267-7313(代) FAX 046-267-7314

いずみ会計事務所
税理士・内部監査士
浦田 泉
〒102-0084
東京都千代田区二番町1-2
番町ハイム737号室
TEL 03-5210-2511
FAX 03-5210-2513
URL www.izumi-kaikei.com
E-mail:info@izumi-kaikei.com

社団法人日本不動産協会会員
地域に貢献する
株式会社 穂高産業
代表取締役 渡邊 義隆
本社工場 岐阜県美濃加茂市下米田町小山160-2
電話 0574-25-2789(番代)
FAX 0574-25-7014(番)

けん玉の響きは 平和のひびき
公益社団法人 日本けん玉協会
〒101-0051
千代田区神田神保町一丁目29番4号 祥宏ビル5階
TEL 03-6273-7766 FAX 03-6273-7760
URL http://www.kendama.or.jp

一般財団法人日本友愛協会
理 事 木村 正治

株式会社ホテル グランドパレス
取締役
社 長 大塚 尚夫
〒102-0072
東京都千代田区飯田橋1-1-1
TEL : 03-3264-1111 (代)
http://www.grandpalace.co.jp